

# 議 会 だ よ り

おおやまざき



第 76 号

発行

平成28年 6 月 1 日

平成 28 年第 1 回定例会（3 月議会）

## 平成28年度予算案を可決



表紙の写真

### 伊勢神宮掛軸 (小林典和氏所蔵)

かつて町や村では、住民が伊勢参りをするために、定期的に参加費を出しあう伊勢講という人間関係がありました。くじを引いて、当たった者が村の代表として参拝しました。日々の会合では、伊勢神宮の掛軸を床の間に飾り、話し合いがもたれました。

## 主な内容

平成28年第1回定例会

一般質問要旨	2 ~ 7	審議結果	10 ~ 11
こんなことが決まりました	8 ~ 9	議会のうごき等	12

町政を問う

一般

質問

第1回定例会(3月議会)では、10人の議員が一般質問に立ち、当面する本町の課題について、考えをいただきました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

一部要旨

小泉 満議員……P 2

- 「観光客へPR・環境整備」において
- 町民の「健康づくり」の推進について

辻 真理子議員……P 3

- 保育所について
- 中学校給食の動向について

西田 光宏議員……P 3

- 安心安全のまちづくりについて
- 大山崎町体育館・観光について

※掲載内容は、一般質問をもとに各議員が作成しています。

波多野底砂議員……P 4

- 天王山古戦橋と西国街道北西の都市計画道路について
- 当町の公共施設のあり方について

岸 孝雄議員……P 4

- 町内の道路交通の安全対策について
- 大山崎町における緊急時対策について

高木 功議員……P 5

- これからの「まちづくり」の取り組みについて
- 「地籍調査」について

朝子 直美議員……P 5

- 都市基盤整備と財政計画について
- 移動手段の確保について

山中 一成議員……P 6

- 子育て・教育について

渋谷 進議員……P 6

- ゴミ問題について

森田 俊尚議員……P 7

- 平成28年度当初予算案について
- 今後の教育方針について

小泉 満議員 (所属会派Ⅱ清新)



1. 「観光客へPR・環境整備」において

問 「酒解神社の鳥居について」古くから天王山のシンボルと位置付けられ、町にとって貴重な歴史的な財産・町の誇り、観光客誘致に活用すべきではないか。

答 山腹に大きな鳥居がそびえ立つ風景は全国的にも珍しい、由緒ある神社の鳥居であり、その価値を積極的にPRしていくことで、天王山の魅力の一つ加えることができる。初代の建立時は天王山の植生は松が主であった。現在は鳥居の手前には桜の木が植生して、春には美しく鳥居を彩っている。この魅力を、町のホームページや新たに観光パンフレットを作成する際に紹介していきたい。

と考えている。

問 ふるさとセンター前の新幹線高架下を観光駐車場として活用してはどうか。

答 主要観光地に近く、活用するには絶好の立地であると考える。しかしながら、道路のガードレールや歩道縁石の形状などから活用が可能か検証し、所有者であるJR東海と積極的に協議していきたい。

問 魅力ある景観・美しい町なみ・歩きたくなる道に整備するため、「無電柱化」にしてはどうか。

答 JR山崎駅前から阪急大山崎駅までの間は、観光振興としても非常に重要な個所であると認識しているが、歩道については十分な広さを確保できていない状況であり、無電柱化については、今後の駅周辺の整備を進める中で研究していきたい。

2. 町民の「健康づくり」の推進について

問 「健康づくり」条例

を制定する考えについて問う。

答 今後推進の核となる健康づくり計画の見直しを含め、条例策定について、他市町村の状況を含め研究していきたい。

その他、「町長マニフェストの実施・進捗状況」について①住民が中心のまちづくり②安定した財源確保③きらりとひかるまちへ。④買物難民(弱者)対策関連について(1)大國屋跡地の新たな小売店の誘致状況(2)期間限定による買物難民対策、長寿苑うぐいす号の実働利用のお願いに関する陳情書について(3)JA大山崎支店に買物難民に対する協力依頼(4)「移動販売車について」の見解。を質問しました。



辻真理子議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 保育所について

平成28年度394名が保育を必要としている。

町は宅地開発や共働き世帯の増加により、今後数年は400人を超える保育ニーズが続くことは明らかと見解を示されている。

**問** 平成27年3月に策定された子ども・子育て支援事業計画の予測と大きく異なっている。早急な見直しが必要と考えるが、いかがか。

**答** 定期的に「子ども・子育て会議」の場で、実施状況を調査審議し、継続的に点検・評価を行う対応していく。

**問** さらに1園認可保育所が必要と考えるがいかがか。

**答** 特に1、2歳児が大幅に増加している現状で、

子どもの安全等を考えた時、現状の受け皿では限界に近い状態。まず1園について入所定員の見直しを含め、民営化を行う。

子ども安全等を考えた時、現状の受け皿では限界に近い状態。まず1園について入所定員の見直しを含め、民営化を行う。待機児童の解消策はいかがお考えか。

**問** 待機児童の解消策はいかがお考えか。

**答** 数年は400名の入所が見込まれる。早急な対策として小規模保育や、家庭的保育事業で対応したい。

**問** 家庭的保育や小規模保育では、0歳から2歳を主な対象としている。

**答** 先のアンケート調査において、スクールランチをほぼ毎回利用している生徒が4名だった。パン販売の利用等をお願いしたい。

**問** 所謂「3歳の壁」をつくり、働く保護者の不安をよりにつそう高めることになるのではないか。

**答** 3歳児になると面積基準が上がるので、待機児童は出ないかと思う。

2. 中学校給食の動向について

**問** 何年度からの実施になる見込みか。

**答** 早々に調査検討を行い、老朽化している小学校給食施設の在り方も含め、実施方式の検討、総費用比較などの資料を取

りまとめる。「中学校給食導入検討委員会」を立ち上げ、平成28年度中に検討を終え、平成29年度に基本計画、実施設計の完了、平成30年度に整備工事を完了し、平成31年度からの実施を目指したいと考えている。

その他、性的マイノリティに対する理解をすすめる教育について「質問

しました。

西田 光宏議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 安心安全のまちづくりに関して

**問** 大山崎町総合防災訓練の状況・同報系防災無線・Wi-Fi環境の整備などを問う。

**答** 大山崎地区の住人を中心に、約500名の町民が参加。対策本部で町長以下幹部職員と「起つて欲しくない事態」について検討を重ね、平常時の備えを確認し「自助・共助・公助」が重層的に支え合う危機管理体制を実現し、災害に強い安心・安全のまちづくりへ結果するよう考えた。同報系防災無線・Wi-Fiの環境整備に関しては、

公助の果たす役割「情報発信・伝達」は大きな責務であり、ネット環境整備も災害情報や安否確認の一助で、また外国人の

母国語による情報収集を可能とする事業であると考えられる。

リンピック・パラリンピック開催を控え、参加国との交流事業「ホストタウン構想」は、天下分け目の天王山を前面に「勝負の聖地」としてのブランド化を図り、観光振興につなげる取組を進めるのにスポーツは相性が良いと考えている。関ヶ原町との地域間連携は共に、「天下分け目の合戦の地」天王山・関ヶ原という他にない特色と知名度があるので積極的に観光面で連携を模索したい。DMOの定義に地域の観光振興の現実におけた戦略・施策・観光地経営とある。本町においては専門家の助言などを入れながら「勝負の聖地」としてのブランド化をはかり、観光による「稼ぐ」地域や「天下取り」をテーマとした日本版DMOの設置を模索したい。

**問** ホストタウン構想を契機とする観光振興の取り組み状況。関ヶ原町との地域間連携(地方創生加速化交付金・DMOの設置)について問う。

**答** 2020年の東京オ

その他、防犯カメラ・防犯灯LED化・堺市との交流進捗などを質問しました。

その他、防犯カメラ・防犯灯LED化・堺市との交流進捗などを質問

しました。

しました。

波多野 庇砂議員 (所属会派Ⅱのぞみ)



問 関西圏の副首都構想について。

答 関西広域連合や大阪市において、どのような方向をめざすのかについても議論がなされる中で、注視してまいりたい。

問 天王山古戦橋※と西国街道北西の都市計画道路について。

答 緊急車両を最短時間で、山手の町道大山崎円明寺線沿いの市街地と結び、市民の日常生活の利便性を図る生活道路体系を整備するとともに、将来の良好な市街地の形成を図ろうとするもの。

天王山跨線橋※の双方方向通行については、舗装工事及び交差点との取り付け工事の実施後となるが、来年度上半期に実現できるように進めたい。西国街道については、都市計画

道路として位置づけるべき路線では無い。

都市計画道路の整備には、必要性・実現性の観点から総合的な検証により、現在の計画に対する存続・廃止の位置づけを行う必要があると認識。

都市計画道路「下海印寺大山崎線」区間の整備は難しい。

問 円明寺が丘団地(区分所有)の再生について。

答 高さ制限の緩和については、景観面・北側斜線の問題も含め、慎重に取り組むべき課題。

区分所有法による建替えについては、建替え決議に地権者の5分の4以上かつ各棟3分の2以上の合意が必要。

問 当町の公共施設のあり方について。

答 公共施設やインフラ資産の今後の更新費用の見込みについて、総務省が示す基準で試算した結果、現状の公共施設やインフラ資産を同規模で更新した場合の費用を平均

すると、毎年約8・4億円が必要となり、現状の財政状況では大きな負担となる。過去から先送りされてきた本町における重要課題であり、その資金手当てとして、都市計画税の導入をお願いせざるを得ない。議員ご指摘のとおり、都市計画税をもつてもなお、資金が不足することも考えられるが、経費の圧縮等、将来的に持続可能な計画とした上で、都市基盤整備はその整備効果が多年に渡ることから、世代間の負担の平準化を図る意味でも起債を有効に活用。

問 名神・新幹線の高架下に雨水槽を設置することを義務とする当町独自の条例制定について。

答 条例で貯留施設設置を義務付ける考えは無い。※の表記について、天王山古戦橋は固有名詞、跨線橋は鉄道線路をまたぐ橋の呼び方ですが同じ場所を示しており、現在2通りが使用されています。

岸 孝雄議員 (所属会派Ⅱ民主フォーラム)



1. 町内の道路交通の安全対策について

問 平成28年度から天王山古戦橋の上下通行が開始されるなど、大山崎町内の道路交通環境の整備に伴って車の通過台数や走行経路の変化が予測される道路交通環境への対応策について。

答 町道大山崎・円明寺線の歩道の安全対策については、現在も歩道のない箇所が存在することは認識している。

この区間については、過去にも一部用地の買収をするなど道路の拡幅の準備を進めてきたが、近年の財政状況や既に住宅がはりついている環境などから、進捗については厳しい状況であるが、双方方向通行を踏まえ、道路整備の計画を検討の上、

進めたいと考える。

問 町内の生活道路における定点観測に基づく交通安全対策の立案及び実施の必要性について

答 道路の交通環境の変化に対応する方法として、28年度に交通量調査を実施し、その結果を踏まえて道路の計画、交通安全対策を図っていきたい。



2. 大山崎町における緊急時対策について

問 地震や台風、豪雨等の自然災害に対しては「地域防災計画」が策定されているが、近年我々の周辺で発生している自然災害は段々大型化、頻発しており、これまでの

防災基準では対応出来なくなってきたという現実を踏まえて大山崎町における災害時の対応手順の妥当性の検証について。

答 例えば地震については震度4の地震が発生した場合には40名の職員体制を、震度5で60名体制となる配備を自動的に構築することとしており、避難所開設については、予め避難所配備職員を選任して避難所開設手順にかかるマニュアルについても整備を終えているところである。これらを含めた対応手順については迅速かつ効率的な対応を行なうために、今後も常に対応体制の検証と再構築を怠らず、より確実に市民の生命・身体を守る、「安心・安全のまちづくり」を推進していく。

その他、「日常生活上の買い物支援策」について質問しました。

高木 功議員 (所属会派Ⅱ公明党)



1. これからの「まちづくり」の取り組みについて

**問** 各種公共施設が築40年を迎え、老朽化が進んでいる。中央公民館を複合型施設にすることで効率化や利便性の向上が図られ、子どもからお年寄りまで幅広い世代の交流ができるようになる。この課題については、さまざまな議論がされているが、町長はどのように考えているのか、見解を聞く。

**答** 住民サービスに直結する公共施設の今後のあり方については、利用者の利便性の向上、安全・安心の確保、施設の維持管理費等に掛かる財政負担の軽減や平準化を図っていく必要がある。また、それらを実現する手法として、施設の複合化や民営化、長寿命化といった

視点を含めて、公共施設の今後の在り方について検討を進めることが求められている。

今後の取り組みは、「公共施設等総合管理計画」に示された基本的な方針に基づき、平成28年度に「公共施設整備計画作成業務」を盛り込んでおり、老朽化の進む主要な公共施設については、社会情勢や利用状況、財政状況等を踏まえ多角的な視点から今後のあり方について総体的に検討し、各施設を利用する人から笑顔が生まれる施設整備を進めていきたい。

2. 「地籍調査」について

**問** 「地籍調査」は、市町村が主体となっており、市町村が主体となっているが、地籍調査の実施について、町長の見解を聞く。

**答** 「地籍調査」とは、国土調査法に基づき、市町村が事業主体となっており、筆ごとの土地所有者、地番、地目、境界、面積を正確に調査するもの。

全国の地籍調査の実施状況では、京都府は8%の実施状況で、全国で最下位となっている。「地籍調査」をするメリットは、①森林管理の適正化②災害復旧時の迅速化③公共事業の円滑化などが挙げられる。この地籍調査については、平成25年に議員から質問をいただいたときには、用地業務としての専任者がいないなど人員体制の面から、実施を見送る答弁をした。しかし、重要性については十分認識している。

今年度は、調査の対象地域として、一部河川の区域などは除外して町全域を対象とし、実施期間は10年〜15年程度必要であると考えている。また、来年度については、事業計画の策定、関係機関との協議、住民への周知を行うとともに、基準点測量などを進めていく。

その他、「大山崎町第4次総合計画について」質問しました。

朝子 直美議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 都市基盤整備と財政計画について

**問** 水道施設及び雨水排水施設の整備に係る財政計画は、都市計画税の導入が前提となっている。見通しについてどのように考えているのか。

**答** 水道会計はここ10年純損失が発生する状態が続いており、京都府営水道受水費負担など固定費の割合が高い状態が続いている。この間累積欠損金が増え、保有資金でしのいでいる状態である。そんな中、災害に強く将来にわたって効果的に給水を行うため、府営水道第2受水池築造など施設整備を行っている。これらの施設整備にかかる起債(借金)の償還により平成30年代半ばには、現在の料金体系では資金

不足が発生する見込みである。

**問** 資金が不足し、財源の見通しがなければ、整備計画は中止するのか。

**答** 先送りできない事業として優先順位により取り組み、財源としては国の補助金と町債の発行により計画を推進していく。

**問** 財源にしようとしている都市計画税の導入について住民に説明する考えはないか。

**答** 都市計画税導入そのものについては説明するつもりはないが全体的なまちづくりについて説明する機会をもっていきたい。

2. 移動手段の確保について

**問** 町長はこれまで、自らが会長である「地域公共交通会議」を1度しか開いていない。「移動手段の確保」を、まちづくりの課題として認識されているのか。また、どのように解決しようと考えているのか。

**答** 障がいのある方や高齢者の方には福祉施策でのサービスを行っているが、今後の高齢化の進行を鑑みて買い物や通院などの移動の利便性の向上をはじめとした町内外の移動手段の確保について引き続き検討したい。7月に開催した「地域公共交通会議」での意見等について内部で整理・検討を行っており次回開催日は未定である。

その他、「大山崎町総合戦略(案)」に関わって、「定住者増加にむけての取り組み」や、「買い物の不便さについての解決策」などについて、質問しました。



山中 一成議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 子育て・教育について

**問** 保育所ニーズの現状と今後について、保育所政策を町長はどのようにお考えか。

**再質問** 公立保育所を廃止して、民営化する考えはあるのか。

**答** 選挙戦の方でも訴えていた通り、この間ずっと民営化に向けて鋭意進めていこうとする決心は緩いではない。

財政的な効果や保護者の皆さまのニーズに応えられる保育所運営のあり方を検討しながら進めていこうと考えている。

**問** 中学校給食の取り組みについて予算化されているが、導入までの具体的なスケジュールを尋ねる。

**答 教育長** 平成29年度において基本設計、実施設計を行い、平成30年度に整備工事を実施し、平成31年度から「中学校給食」を開始することをめざしている。

**問** 大山崎・第二大山崎両小学校のトイレ改修の状況と、新年度予算での改修計画並びに次年度以降の取り組みについて尋ねる。

**答 教育長** 平成28年度は大山崎小学校南校舎1階から3階の改修工事を予定しており、その完成を以って、児童の使用する校舎・普通教室棟のトイレ改修は終了することになる。小学校トイレ改修にかかる当初計画においては、平成24年度から平成35年度までの12年間を掛け、事業を実施する計画としていたが、平成30年度の事業完了を目的に進め、教育環境の改善に努めてゆく所存である。

**問** 平成28年度に向けて、

大山崎中学校の通級指導教室の設置、または、府費負担の特別支援教育にかかる非常勤講師指導員の配置要望の実現の見通しについて尋ねる。

**答 教育長** 中学校が組織的かつ体系的な教育的支援に取り組むとともに、発達段階で個別の支援を要する中学校の生徒のために、小学校同様、町単費で「特別支援教育支援員」を配置できるように、今般上程の平成28年度一般会計当初予算(案)に、「特別支援教育支援員資金」127万1千円を計上しているところである。

その他、地方創生について、加速化交付金の活用について、では、挑戦する人を、「天下人」秀吉の勝ち運にあやかっただけのブランド化について、町長の答弁をいただきます。

渋谷 進議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. ゴミ問題について

**問** 大山崎町の排出量と家庭系ゴミの量  
昨年12月議会、家庭系ゴミへの有料袋一部導入条例案が町民から反対され議会でも否決された。

町職員は「定期収集の超過分が有料は常識」として、その支払い方法で「町民の利便性を進めるため提案した」と説明していたが、ほとんど

の町民は、家庭系収集では「一回45リットル以上は出せない」と思っていて「超過分が有料など知らない」。町民の思いを把握しないまま提案した事が町議会での否決につながった事を示した。

そもそも①今のゴミ条例が決まった平成9年から家庭系ゴミは着実に減っている(グラフ参照)。

②町は15年間を期間とするゴミ減量計画を平成19年から進めているが、平成33年にゴールするはずの減量目標を、すでに折り返しの平成25年には超過達成していた。③定期収集超過分を実効的に有料徴収できるのは各戸前の収集だけ。マンションやステーション方式の場合との公平性が保てない。現にステーション方式だけの長岡京市では超過分有料徴収は行っていない。

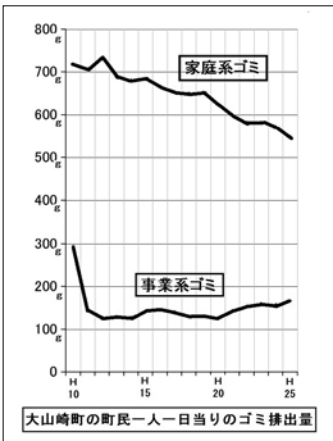
よって、ゴミ減量の進み具合の実態からも、一部有料収集の不公平性からも、家庭系ゴミの超過分有料収集は根拠がない事を明らかにした。

もちろん、ゴミ焼却処分場のひっ迫もあり、ゴミ減量は町政全体で取り組むべきテーマだが、(イ)まず町民

全体の合意を形成するために努力すべき、(ロ)行政としては、むしろ微増傾向の事業系系ゴミの減量化でまず成果を上げるべき、と提案した。

その上で、町長に大山崎町のゴミ問題の現状と課題をどう把握しているかを質した。

**答** ①平成9年の条例制定以来、町民の理解と協力で、ゴミの総排出量は22%減少となっている。②ゴミの焼却灰処分場である大阪湾フェニックスは平成39年には満杯、勝竜寺埋立地は平成43年で満杯見込み。③引き続き「ゴミ減量化」に取り組んでいく。



森田 俊尚議員 (所属会派 大山崎クラブ)



問 平成28年度当初予算案について

答 本年度予算案は、本町の未来を創造するプロジェクトと位置づけし、「笑顔が生まれるまちづくり」を基本としつつ、新たに「安定」をキーワードとしてまとめた。今回の予算案の重点施策として1つ目に、天王山関連施策地域振興、2つ目に、安全・安心、基盤整備である。

まず、1つ目について、公約事項である観光振興を抜本的に見直し、さらに積極的に進める。本町のシンボルである天王山を町の施策の中心とし、町内外に戦略的に情報発信を行い、観光を軸に交流人口の拡大に取り組み。また、天王山を勝負の聖地としてブランド化し、スポーツ環境の整備と振

興を通じて、健康づくり、地域間のコミュニケーションに取り組み。

具体的な事業では国の交付金を活用し、町の魅力ある動画や広報誌、町HPリニューアル等に取り組み、また天王山ふるさと納税を推進する。2つ目について、住民をはじめ乳幼児や高齢者、障害のある方など誰もが安全・安心に暮らせるよう、自助・共助・公助による地域と、防災力を高める基盤整備に取り組み。具体的には、同報系防災行政無線や避難所Wi-Fi環境、防犯カメラ等を整備し、都市基盤では、円明寺が丘団地西・下植野団地側溝改修を順次、計画的に実施する。乳幼児子育てでは、待機児童ゼロの取り組みをはじめ、ゆめほっぺの改修や乳幼児身体クリニックを実施。小中学校では、特別支援教育支援員の増員やトイレ改修。また、小中学校9年間を見通した英語教

育推進事業。また、中学校給食導入について、本町に適した給食を検討するための費用を計上。

町税全体が著しく減収している厳しい中でも、国、府補助金の積極的な獲得に努め、ふるさと納税等の寄附金の収入や未利用地の処分検討、歳出面でも経費削減を徹底し、職員と知恵を出し合って実行する。そつした自助努力を重ねつつ、各種都市基盤整備に要する財源として、公約である都市計画税の早期導入を目指す所存である。

問 今後の教育方針について

答 平成27年4月、自治体に総合教育会議と教育大綱を定めることとされ、本町では8月の総合教育会議で、教育振興基本計画を教育大綱とすることが決定した。平成27年度より新たな振興計画が策定され、それを基に教育大綱が策定され、これからの大山崎町の教育方針と定めている。

平成27年度の政務活動費についてお知らせします

会派名	大山崎クラブ	日本共産党議員団	公明党	民主フォーラム	のぞみ	清新	光会	合計
会派人数	4	3	1	1	1	1	1	12
平成27年度交付額	240,000	180,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	720,000
経費	調査研究費	6,480	21,360	0	0	0	0	27,840
	研修費	100,400	0	11,380	0	0	0	111,780
	広報・広聴費	2,800	127,900	0	6,722	60,750	0	198,172
	要請陳情等活動費	0	0	0	38	0	0	38
	会議費	0	2,000	0	0	0	0	2,000
	資料作成費	0	0	0	17,312	0	7,507	24,819
	資料購入費	46,456	30,436	0	0	0	53,064	102,552
	事務費	89,568	0	13,200	32,695	0	0	135,463
人件費	0	0	0	0	0	0	0	
合計	245,704	181,696	24,580	56,767	60,750	60,571	102,552	732,620
返還額	0	0	35,420	3,233	0	0	0	38,653

※交付額は条例に基づき議員一人あたり月額5,000円

3月町議会

# こんなことが 決まりました

## 平成28年 第1回定例会

### 平成28年度各会計当初予算などを可決

平成28年度一般会計当初予算案56億1千500万円・平成27年度補正予算案1億2千300万円合わせ「13ヶ月予算」を慎重審議の上可決。重点は観光と基盤整備。水道事業会計は依然赤字。審議内容の主なものを次のとおり紹介します。審議結果は10、11ページをご参照ください。

#### 予算の審査から

#### 大山崎ポンプ場(A棟)解体工事スタート ～住環境を守りながら進めるよう要求～

171号線沿い鏡田東地域にある大山崎ポンプ場の5つのポンプのうち、3つのポンプを更新するため、ポンプが設置されているA棟建物を建て替える工事がスタートします。

今後、解体、新設工事、ポンプの設置とA棟だけで約5年間、続くB棟の耐震なども含めれば10年ほど工事・作業が続きます。3月議会では、工事費用の資金計画についてや、工事期間中の地域住民の安全性、公園が使えるようになることへの対策について町の考えを問いました。

(関連する予算

・・・約1億2千万円)



#### 中学校給食の導入にむけての検討開始

2年半試行してきたスクールランチ制度の利用者が伸びないことから、これを廃止し、全員が食する中学校給食の実施を検討することが提案されました。全国では80%以上の中学校で実施されており、保護者・住民の多くから実施が求められていました。

今年度後期に、学識経験者・住民などが参加する「検討委員会」が立ちあげられる予定で、実施開始は、平成31年度と見込まれています。

(関連する予算・・・430万円)

#### 体育館の機能向上工事にむけ、設計費用が計上される

東京オリンピックに向け海外選手団のフェンシング練習会場として申請するため、また、災害時の避難場所としての環境整備のため、体育館にエアコンやエレベーターを設置するなど、総額約5億円の工事をすると方向が示されました。今年度の予算には、その準備として、設計委託費2千500万円が計上されました。

「住民生活にとって優先度は低い」「最小限の改修にとどめるべき」など、反対する意見が出されました。

(関連する予算・・・2千500万円)



## 公共施設の複合化や運営への民間 活力導入の方針が示される

28年度予算に「公共施設等総合管理計画」策定のため委託料1千500万円が計上されました。同時に示された「管理計画素案」では、公民館や長寿苑、保育所の複合化や、民間活力導入の検討を示しています。住民に身近な公共施設だけに、今後のあり方については、住民との意見交換を十分に行うようにとの意見が出されました。

〔関連する予算・・・60万円〕



## 同報系防災行政無線を整備

災害時の避難情報等の伝達のために、町内の複数箇所に屋外スピーカーを設置し、一斉に情報発信する「同報系防災行政無線」を整備することとなりました。これにより迅速な情報伝達が可能となり、安心安全なまちづくりが推進されます。

〔関連する予算・・・1億円〕

## 国の補助金で観光事業を重点に

「地方創生加速化交付金」を活用し、岐阜県関ヶ原町と連携し事業を行います。両町には、天下分け目の合戦の地としての歴史的共通点があるため、「天下取り」ブランド構築事業とともに推し進めます。

具体的な内容は以下のとおりです。「天下取り」をイメージする豊臣秀吉と徳川家康をキャラクターとしたロゴなどを共同開発しPRグッズを作成(50万円)「山崎の合戦」から「関ヶ原の合戦」へつながる観光PRアプリの作成(2千万円)天下分け目合戦イベント実施(1千万円)天王山「秀吉の道」整備(500万円)など。

〔関連する予算・・・7千600万円〕

## ふるさと納税の増額を目指して

今年度から、町内事業者から提供された商品を返礼品とし、インターネットを活用し、寄付を募り、他市町村にお住まいの方に大山崎町を応援していただく仕組みを構築することとなりました。

〔関連する予算・・・60万円〕

## 人事

次の人事について、町長提案に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員に

小畑 健志氏

永井 正俊氏

## 議案の審査から

### 町職員等の給与の一部改定を賛成 多数で承認しました

町職員等の給与の一部改定を賛成多数で承認しました。尚、この給与改定は人事院勧告を参考に算定されたものでこの基礎となる人事院勧告とは、国の機関である人事院が、国会、内閣、関係大臣その他の機関の長に行う、国家公務員の一般職職員の「給与その他の勤務条件の改善及び人事行政の改善に関する勧告」であり、職員給与を決定する要素として、毎年国民一般の標準的な生活費用(標準生計費)と民間賃金の調査結果をもとに算定した額を参考に官民給与の比較を行い、職員の給与を民間給与にあわせることを基本として手当の改定内容を決定するものです。

### 改正行政不服審査法等施行に伴う 町条例の改正について

平成26年6月13日公布の行政不服審査法関連三法(行政不服審査法・行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律・行政手続法の一部を改正する法律)の施行により、大山崎町においても町による処分に関して町民による行政に不服の申し立て、また第三者機関である行政不服審査会が改めてその処分について違法性や不当性、妥当性を判断する「行政不服審査制度」に関して、公正性、制度の使いやすさの向上の観点から規定された条例を可決しました。

# 議案に対する各議員の表決結果をお知らせします！

【賛成：○ 反対：×】

(議席順に掲載)

## 第1回 定例会

### 賛否が分かれた議案等

議案番号	議案名	議決結果	西田 光宏	森田 俊尚	山中 一成	高木 功	岸 孝雄	前川 光	辻 真理子	朝子 直美	渋谷 進	小泉 満	波多野 庇砂	北村 吉史
5	大山崎町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
6	大山崎町職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
12	平成27年度大山崎町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
16	平成28年度大山崎町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
18	平成28年度大山崎町下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	留保	留保	留保	○	○	
20	平成28年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
24	平成28年度大山崎町水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
意見書1	国による子どもの医療費無料化制度の確立と国庫負担金減額調整措置の廃止を求める意見書案	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
意見書2	保育所待機児童問題への緊急対策として保育所への国の財政支援を大幅に増やし保育士の抜本的処遇改善を求める意見書案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
意見書3	原発再稼働の推進の見直しを求める意見書案	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
意見書4	「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書案	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	

議長のため採決には加わらない

### 提出された意見書案

#### 意見書1

国による子どもの医療費無料化制度の確立と国庫負担金減額調整措置の廃止を求める意見書(案)

#### 趣旨

急速に進む少子化の1つの原因とされている子育てにかかる経済的負担を減らすため、ほとんどの自治体で取り組まれている子どもの医療費助成について以下のとおり要望する。

1. 国の責任で制度を確立すること

2. 実質無料化を行っている自治体に対する「国庫負担金の減額措置」をただちにやめること

(賛成少数で否決)

#### 意見書2

保育所待機児童問題への緊急対策として保育所への国の財政支援を大幅に増やし保育士の抜本的処遇改善を求める意見書(案)

#### 趣旨

最近大きな政治の焦点として顕在化した待機児童問題の抜本的解決には何よりも保育所の増設・整備が不可欠である。また、緊急対策としての深刻な保育士不足の解消が必要として、次の2項目の実現を国に求める。

全員が賛成であった議案等

番号	議案名	議決結果
1	専決処分の承認を求めることについて(大山崎町税条例の一部を改正する条例等の一部改正について)	承認
2	大山崎町行政不服審査法施行条例の制定について	原案可決
3	大山崎町行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
4	大山崎町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	原案可決
7	大山崎町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	原案可決
8	大山崎町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
9	大山崎町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
10	大山崎町福祉センターなごみの郷の指定管理者の指定について	原案可決
11	大山崎町立老人福祉センター長寿苑の指定管理者の指定について	原案可決
13	平成27年度大山崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
14	平成27年度大山崎町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
15	平成27年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
17	平成28年度大山崎町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
19	平成28年度大山崎町介護保険事業特別会計予算	原案可決
21	平成28年度大山崎町大山崎区財産管理特別会計予算	原案可決
22	平成28年度大山崎町円明寺区財産管理特別会計予算	原案可決
23	平成28年度大山崎町下植野区財産管理特別会計予算	原案可決
25	大山崎町道路線の廃止について	同意
26	大山崎町道路線の認定について	同意
27	大山崎町道路線の起終点の変更について	同意
28	放課後児童健全育成事業施設なかよクラブ改築工事変更請負契約について	原案可決
29	円明寺線第48号下部工他新設工事変更請負契約について	原案可決
30	大山崎町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
31	大山崎町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意

1. 保育所への財政支援を大幅に増やすこと
2. 保育士1人あたりの補助金単価を抜本的に引き上げること

(賛成多数で可決)

**意見書3**

**原発再稼働の推進の見直しを求める意見書(案)**

**趣旨**

今年2月に再稼働した「高浜原発4号機」は、3日後にはトラブルを起こし、緊急停止となった。また、3月9日、大津地裁は、高浜原発3号機・4号機の運転差し止めの仮処分決定をした。この司法判断は、今なお強い国民の原発への不安を代弁したものと見える。よって国が、原発再稼働推進の方針を見直すことを求める。

(賛成少数で否決)

**意見書4**

**「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書(案)**

**趣旨**

3月29日施行を迎えた「平和安全保障関連法」は憲法違反の疑いがある。大山崎町議会からは、昨年6月「平和安全保障法案の慎重審議を求める意見書」を提出したが、十分な審議が行われず強行採決による成立となったことは極めて遺憾である。いったん白紙にもどすことが憲政上適切な措置である。

(賛成少数で否決)

●放課後児童健全育成施設

「なかよしクラブ」の竣工式に  
参加しました。

日時

3月30日（水）  
午後1時30分

場所

大山崎小学校内

一昨年度から事業実施が待たれていた「なかよしクラブ」の新施設がようやく完成しました。計画段階での議会からの提案を受け、休日などに学校施設を利用する他団体がトイレを使用することができるよう建設されています。



議会のうごき

●閉会中の委員会開催など

★議会運営委員会

4月26日（火）

第2回定例会の日程

5月26日（木）

第2回定例会予定付議事件説明

本会議の運営について

★広報常任委員会

4月19日（火）

3月29日（火）

4月7日（木）

「議会だより第76号作成」



皆様の傍聴を  
歓迎します!!

―6月議会の日程をお知らせします。  
ぜひ、傍聴にお越しください―

第2回定例会（6月議会）の日程

6月2日（木） 本会議（開会）

6日（月） 議会改革特別委員会

9日（木） 本会議（一般質問）

10日（金） 本会議（一般質問）

13日（月） 総務産業常任委員会

14日（火） 建設上下水道文教  
厚生常任委員会

15日（水） 予算決算常任委員会

17日（金） 広報常任委員会

21日（火） 本会議（最終日・採  
決）

※本会議及び予算決算常任委員会は  
午前10時開会予定。

その他の委員会は、午後1時30分  
開会予定。

先般の熊本地震で被災された皆様  
に心よりお見舞いを申し上げます。  
また、被災地域の日も早い復興  
をお祈りいたします。

大山崎町議会

編集後記



3月定例議会は平成28年度予算  
審議の他、行政不服申立てに関す  
る条例など国の法律の改正に伴う  
町条例の改正案の審議など多くの  
案件を審議する議会となりました。  
また、町議会議員は環境衛生、消  
防、福祉施設の3つの一部事務組  
合議員の他、地方税機構などの広  
域連合議会議員の任も担うため、  
今回の「議会だより」は多くの重要  
な報告事項を扱う号となりました。  
毎回の編集会議ではこれまでには  
なかった報告事項が議論されるな  
ど限られた紙面で少しでも多くの  
議会活動内容をお伝えすべく議論  
を重ねてはいますが、より「わかり  
やすい」「親しみやすい」を目指し  
ていきたいと考えます。

（岸 孝雄）

広報常任委員会

朝子 直美 委員長

森田 俊尚 副委員長

高木 功 委員

岸 孝雄 委員

前川 光 委員

小泉 満 委員

波多野 鹿砂 委員